

## 共架申込 – 注意事項

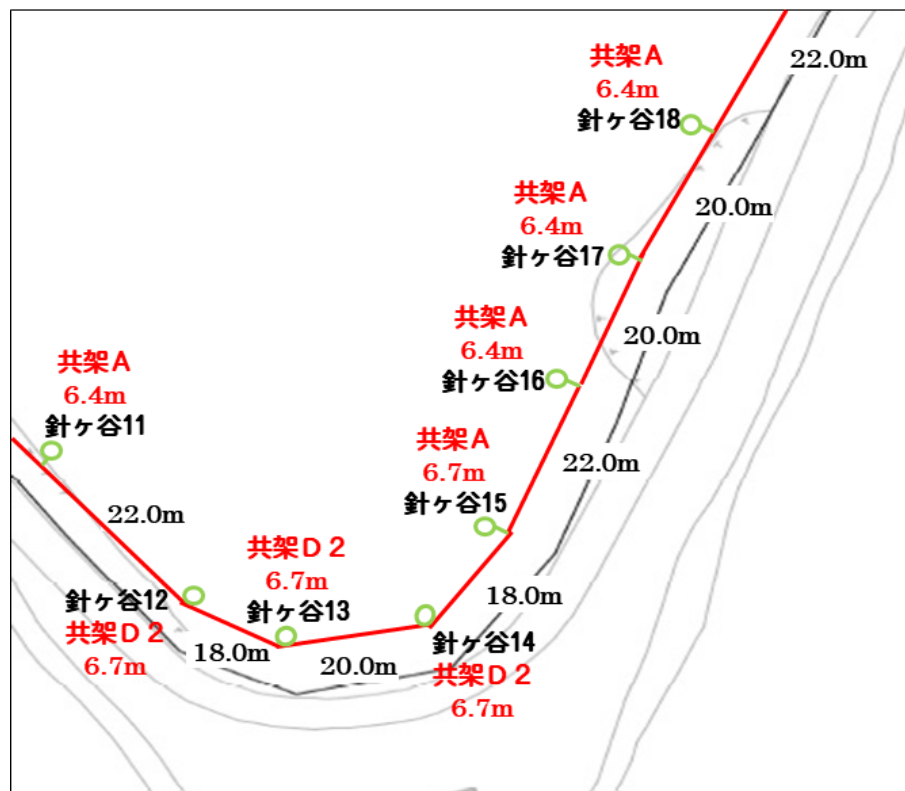
# ルート図の作成

## ◆ご提出いただくルート図の記載について

＜ルート図作成のお願い事項＞

- ① **新規共架対象ルート**を赤色で記載ください。
- ② **電柱間の距離**を記載ください。
- ③ **腕金(バンド)種別**を余白に記載ください。

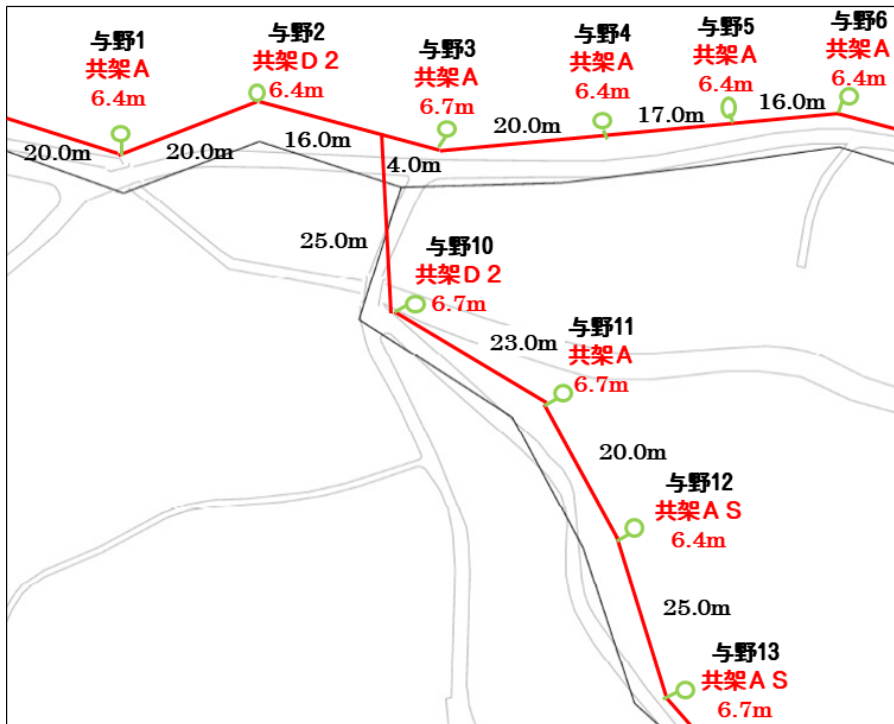
(分岐が無い場合)



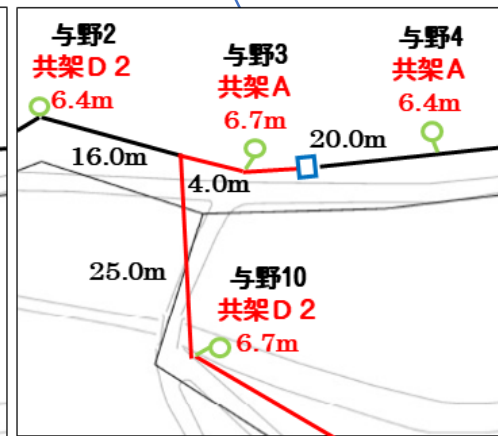
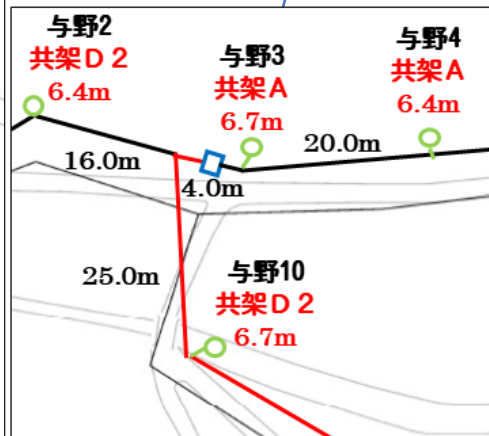
◆ご提出いただくルート図の記載について

(分岐がある場合)

(クローザーがある場合)



電柱に対してどちらにあるかが分かるようにご記載ください。

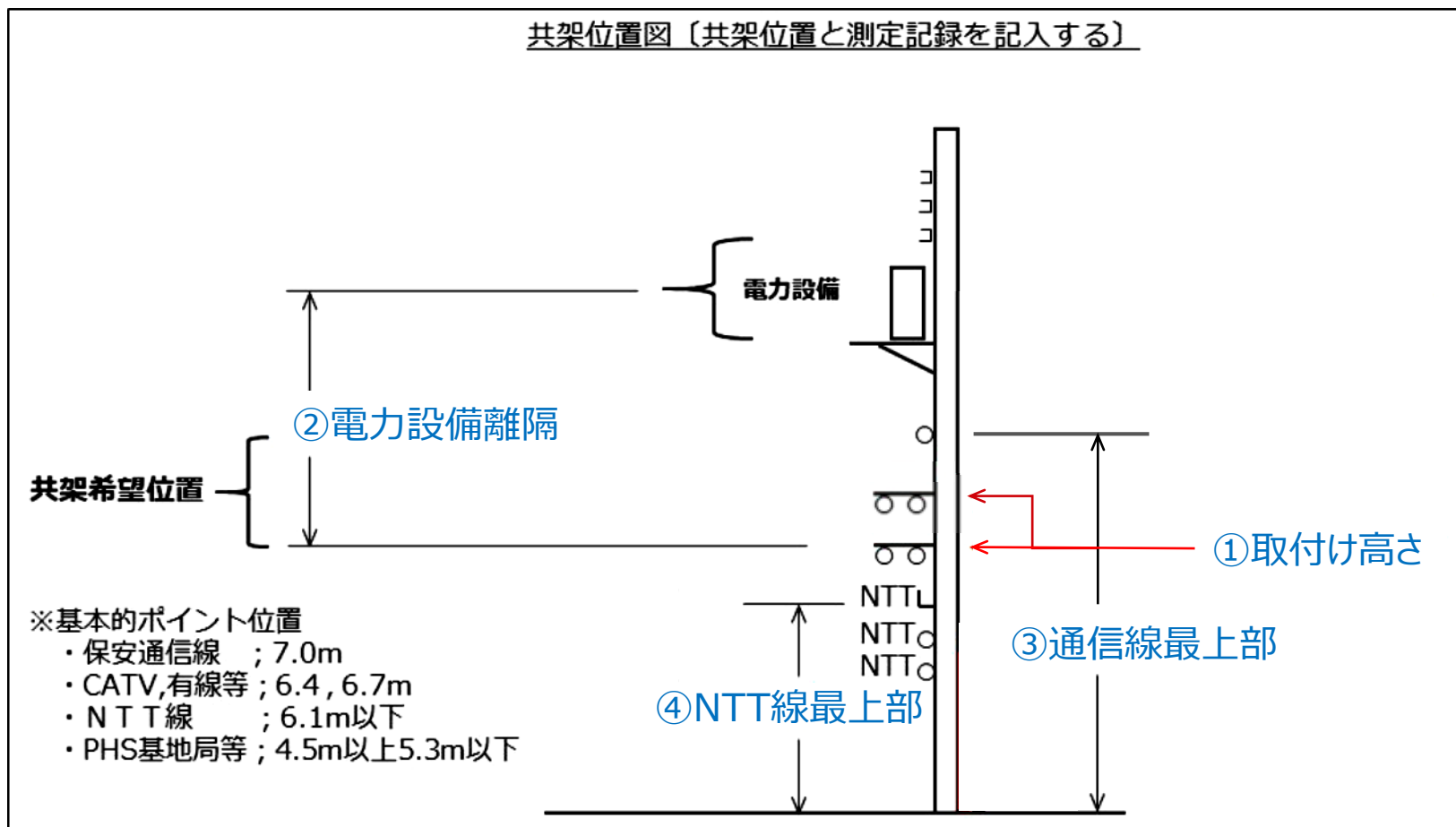


## 共架申込 – 注意事項

# 地上高の測り方

◆ 地上高に関わるKOSMS 入力項目の位置イメージ

- ①取付け高さ ②電力設備離隔 ③通信線最上部 ④NTT線最上部



### ◆地上高の測定位置について

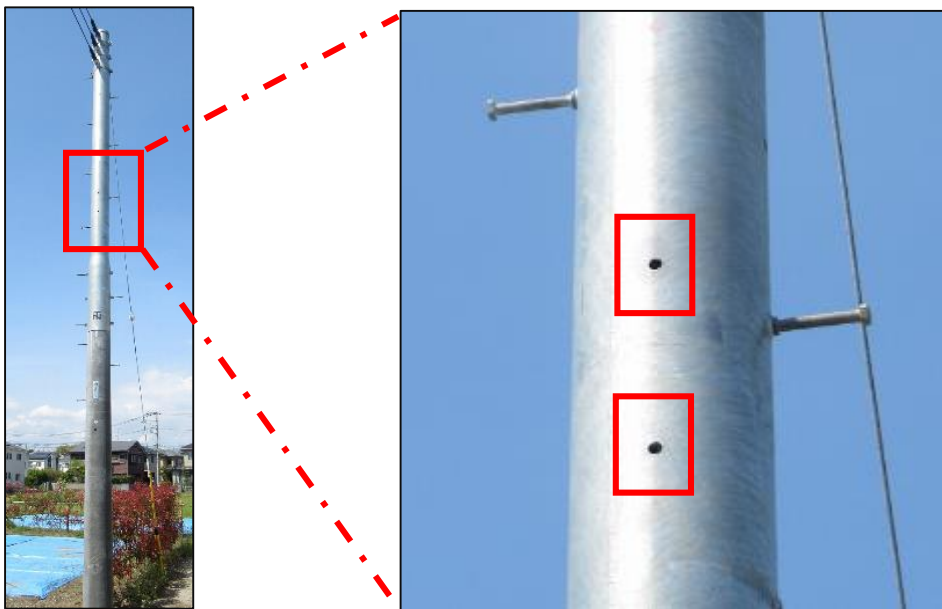
- ①測定用機材は「**地際 ※1**」に合わせて測定する。
- ②対象の共架物が確認できるように「**目印 ※2**」をつける。

※1：電柱が地面と接している部分

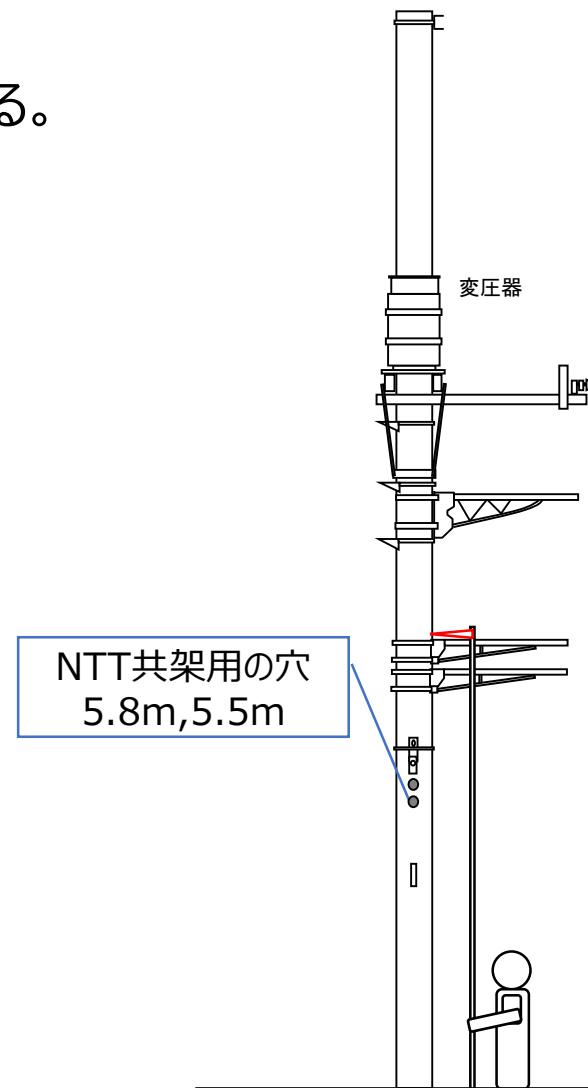
※2：線や矢印等のマークで示す

### ◆地上高の目安

- ①NTT共架用の穴・・・5.8m,5.5m

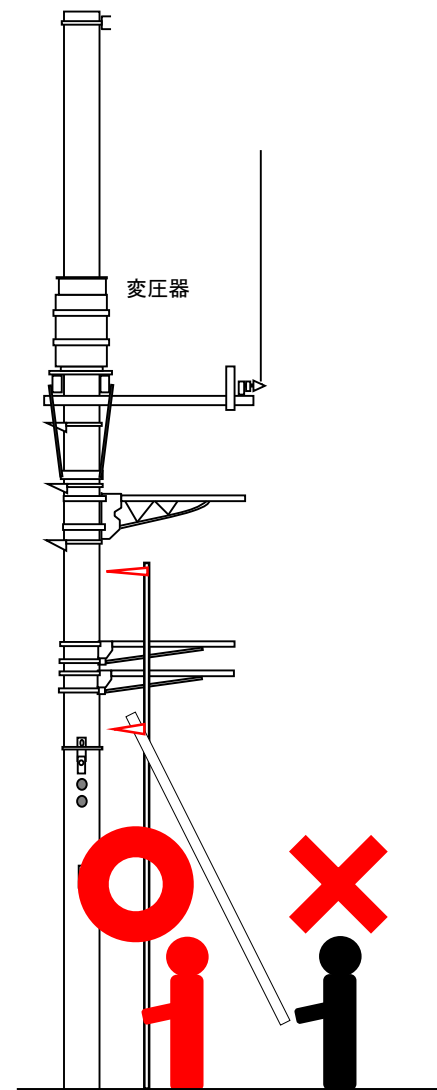


<地上高の目安>



◆測定路面と地際が**同じ**位置の場合の注意点

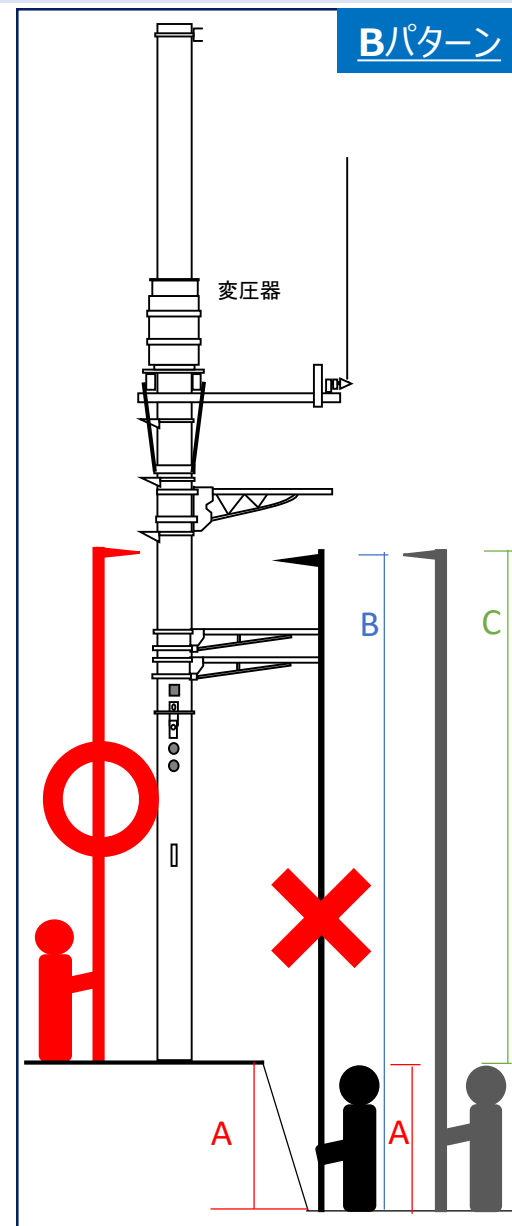
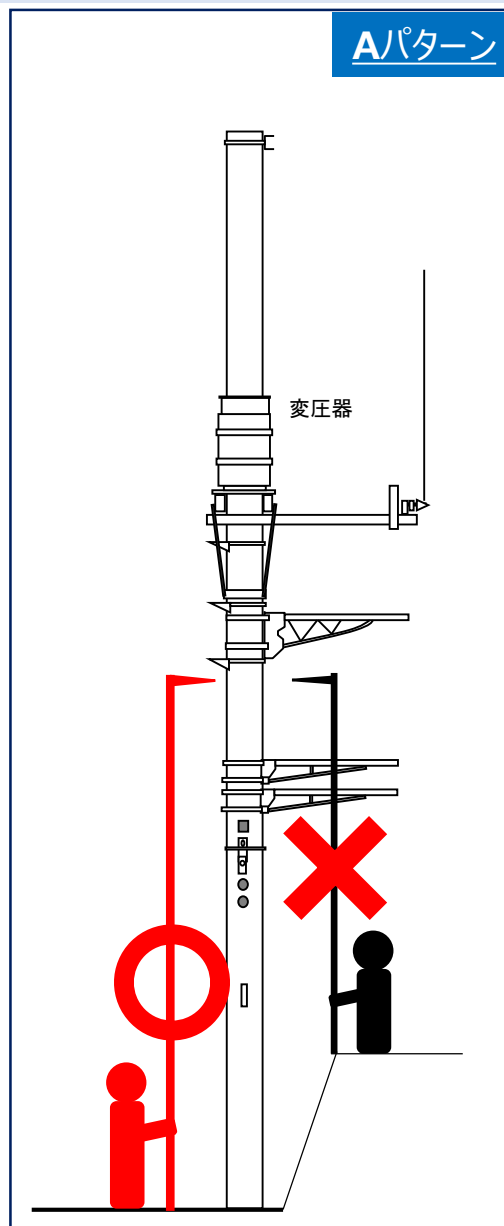
- ①測定器機材が「**地際**」を基準にしているか確認する。
- ②測定器機材が「**傾いていない**」か確認する。



## ◆測定路面と地際が異なる位置の場合の注意点

- ①測定器機材が「**地際**」を基準にしているか確認する。
- ②測定器機材が「**傾いていない**」か確認する。
- ③電柱設置位置の状況により、「**地際**」で測定が不可能な場合、地際と測定路面高さの差分を測定する。※2

※2：右記Bパターン右(グレーの人型)の場合  
測定路面からの地上高(B) - 地際までの地上高(A)  
= 正確な地上高(C)

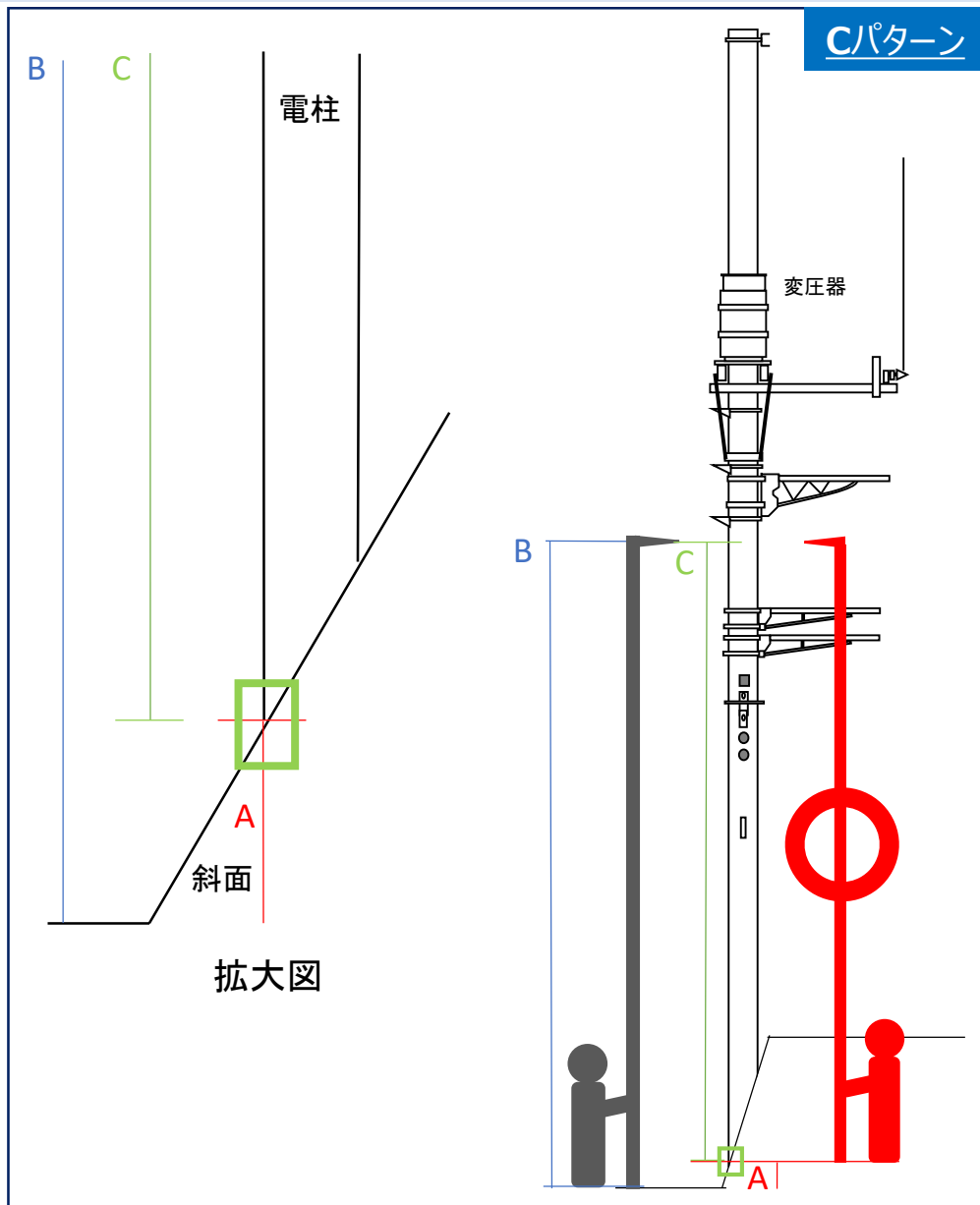




## ◆電柱が傾斜地に設置されている場合の 注意点

- ①測定器機材が「**電柱設置斜面下端** (右図□部分)」を基準にしているか確認する。
- ②測定器機材が「**傾いていない**」か確認する。
- ③電柱設置位置の状況により、「**電柱設置斜面下端**」で測定が不可能な場合、斜面下端と設置斜面下端の高さの差分を測定する。※3

※3：右記Cパターン右(グレーの人型)の場合  
測定路面からの地上高(B) - 地際下端までの地上高(A)  
= 正確な地上高(C)



## 共架申込 – 注意事項

# 写真撮影

## ◆撮影する写真について

- ① 共架設備が立体的に分かるように斜めから撮影する。  
↳ どの設備が、どのように共架されているかが分かるように撮影する。
- ② 当該電柱の「**全景**」を撮影する。
- ③ 共架設備を「**拡大**」して撮影する。  
↳ 全景写真を使用して拡大写真を作成すると不鮮明になるため、全景写真とは別に撮影する。

## ◆写真撮影の注意点について

- ・撮影した写真が「**逆光**」にならないように撮影する。
- ・撮影した写真が「**ぼやけない**」ように撮影する。
- ・全景写真、拡大写真は「**同じ位置**」から撮影する。  
↳ 異なる位置の場合、共架設備を写真上から判断しにくいいため、拡大写真は全景写真と同じ位置からカメラのズーム機能で撮影する。
- ・「**電柱の真下・真横**」から撮影を行わない。  
↳ 共架設備を写真上から判断しにくいいため。

## ◆新規の共架設備について

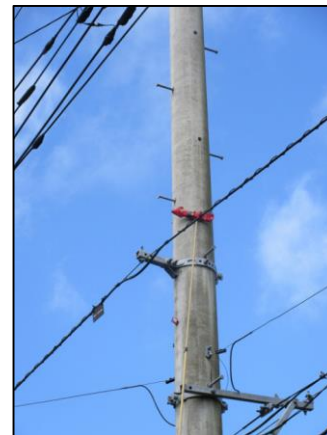
- ・写真内に「**赤色の線もしくは矢印等のマーク**」を明記する。
- ・新規腕金についても写真内に「**矢印等のマーク**」を明記する。

<良い例>

②



③



<悪い例>

× 逆光になっている



× ぼやけている

